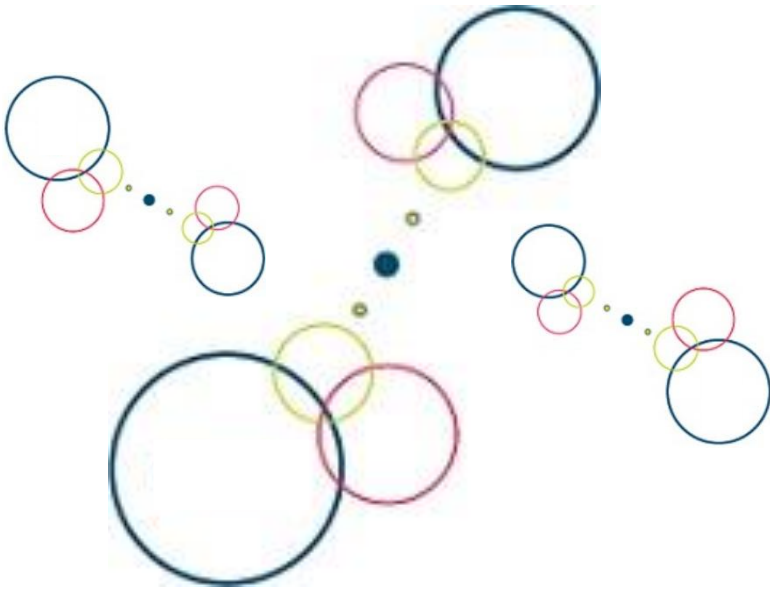


廣瀬仁のルポルタージュ

靈的人生を歩むためのヒント

2026/8/24 道具意識、自己流、自力主義について





「E21-F ④」 アルトヌウロウイ ARUT.NOROUY 足立育朗

暗黒地獄は比喻でも脅しでもない

2026年5月から、朝6時～7時でオンライン講座を開催しており、クロージング^{契約}に関するお話を5月～7月、健康に関するお話を8月にしておりますが、今後はより様々なオンライン講座をクロージング^{契約}で開催していく予定であり、受講資格のない人間にはオンラインを受講させない方針にしていきます。

靈的眞理は、宇宙は「回轉形態素粒波」^{バイブレーション}しており、すべては振幅しており、靈的進化が靈的退化しかないことを明らかにしております。なので、靈的退化したい人間をどうすることも出来ないし、救うことは不可能です。すべての救済、すべての幸福とは自力主義であり、何度指摘してもEGHO^{エウホ}的生き方を改めない人間は、どうぞ死後に

幽界最下層で激しい後悔と良心の呵責かしやくで苦しんでください。

まあ、エーECHOー的生き方をしていたら、死後世界でどうなるのかの予想は大概つきま
すが……。スピリチュアリズム普及會ふきゆうかいのインフォメーション、ニューズレター、スピ
リチュアリズムの思想體系たいけいを読み、靈的眞理を正しく理解したならば、廣瀬仁が大半
の人の死後を暗黒地獄行きといっているのが比喻でも脅しでもなく、嚴然たる事實を
述べているに過ぎないことに気づくでしょう……。

眞の幸福、眞の救済は、「心臓 大脳靈の心と肉の心の調和のとれた状態」を通して、SEPULW背後靈
から送られてきた調和のためのインスピレーションを、即實行し、その體驗たいけんから氣づ
き、まな學まなび、スピードある改善をし續つづける、この繰り返しの果てにしか眞の幸福、眞の

救済はありません。

スピードある改善、指摘したことは即改善が人生で最も大切

眞の幸福、眞の救済で最大の焦点になるのが「スピードある改善」であり、敢えて
いうならスピードある改善を出来ない人間は、十中八九、死後に幽界最下層で苦しむ
ことになります。そして、わたしのリラクゼーション時代のバイブルである『カウ
セリングは「聴くチカラ」で9割^か変わる（大野勝次）』の内容を引用しますが、「いい
と思ったらすぐパクレ！大野流カウンセリングも、パクレ！」「^{まな}学^{まな}ぶ」とは「眞^{まな}似^{まな}ぶ」
こと」とあり、わたしは自分自身を「パクリ大魔王」と自称していますが、これは自
己卑下ではなく、本質をパクってきたから事実をそのまま述べています。



ピカソやストラヴィンスキーの「優れた芸術家は模倣し、偉大な芸術家は盗む」という言葉は有名ですが、「一流は盗む（パクる）」とは、靈的眞理、思想、価値観、知識、技術、アイデアを、表面だけ眞似るのではなく、自分の血肉にして完全に自分のものにしてしまうという意味です。これが廣瀬仁のいう「パクる」の意味です。

スピリチュアリズム普及會ふきゆうかいの記事の中で「自己流」「自力主義」による「自滅」に関する内容があり、自己流、自力主義の対義語が「道具意識」ですが、眞の改善とは眞理、思想、価値観という心の在り方をスピーディーに盗むことが大切です。しかし大半の人間は、知識、技術、アイデアなどのやり方のみを模倣し、心の在り方を盗もうとはしません。知識、技術、アイデアなどの小手先だけしか聴かない人間は、今後コミュニティーには必要ありませんので、自然と縁は切れていくでしょう。

また、「道具意識」としてパクすることに抵抗がなくなっても、それを現實に實行しなければ意味はありません。「眞の自力主義とは、靈界の道具意識になり、それを即實行すること」であり、學んだことは即實行が基本です。そして、學んだことを先延ばしにすると、十中八九、結局行動せずに終わります。

眞の健康學^{けんこうがく}を提唱し續^{つづ}けているジャーナリスト、映画監督、投資家、ビジネスオーナーでもある永伊智一は、「欠点や弱点を指摘しても改善しない人間を惡人」と定義し、欠点や弱点を改善しないまま放置している人間は、カルデックの『靈の書』を讀んでみても、はつきりと「平たくいえば自分が一番偉い、自分が一番正しい」と思い込んでいる利己主義者」であり、そんな利己主義があまりにも日本には多すぎます。惡癖を即改める、これが人生において最も重要なことといっても過言ではありません。

スピリチュアリズムの信仰実践と、皆さんとの明確な差は「信仰心の差」である

ナザレのイエスの手も届かない所に祭り上げたらイエスが喜ばれると思うのは大間違いです。イエスもやはり我々と同じ人の子だったと見る方が、よほど喜ばれるはずです。自分だけが超然とした位くらゐに留まることは、イエスは喜ばれません。人類と共に喜び、共に苦しむことを望まれます。一つの生き方の模範もはんを示しておられるのです。イエスが行ったことは誰にでも實行できることばかりなのです。誰も付いていけないような人物だったら、せつかく地上へ降りたことが無駄だったことになります。

『シルバーバーチは語る』

p.352

イエスは心から地球人類、どうぶつ達、弟子達を神意あしています。しかし、イエスの地上人生の時代、当時のイエスの弟子達のあまりの理解力の乏しさに、何度も失望し、それが、イエスに孤独と焦りをもたらししていました。イエスは時々、一人で寂しい所に出かけて、神に禱いのりを捧げていました。聖書の中には、イエスが弟子達に「信仰の薄い者たちよ」と、厳しい言葉を投げかけたことが記されています。

皆さんが廣瀬仁をどう思おうが、シルバークーチの言葉を借りるなら「廣瀬仁が行ったことは誰にでも實行できることばかり」であり、イエスや足立育朗は、「わたしに出来ることは誰にでも出来ることである」という言葉は本当だと実感しています。しかし、殆どの人間が、「廣瀬仁だから出来る、わたしには出来ない」と、攝理せつりに反したことを平氣で言ってきます。それは要するに、出来ないのではなく、やりたくない

いから、やらないだけなのですが……。

そもそも、靈的巡礼の旅は、地上世界でも靈的世界でも一緒であり、地上世界のそもそもの目的は、靈的世界で待ち受ける新たな仕事を引き受けるための資格を得るため、または前世のカルマの解消が目的であり、肉體にくたいがあるうが肉體にくたいがなくなるが靈性を進化させる目的は變かわりません。

その眞髓は「神意あゐの實踐を通した調和の成就」であり、その目的を達成するための困難に果敢にチャレンジすることが必要です。イエスを総指揮者にした靈界主導の地球人類救済計画は、まさにイエスや高級靈の神意あゐの實踐であり、度重なる困難を乗り越えてイエスは地上再臨を果たし、靈的眞理を實証し續つづけている生ける模範もはんです。

廣瀬仁は、イエスの教えである『シルバーバーチの靈訓』を人生のバイブルに選択し、スピリチュアリズムが明らかにした靈的眞理の信仰實踐をし、その生き方こそが一番正しい生き方だと確信し、その靈的眞理を自分の都合で捻じ曲げないようにしているだけであり、その人生觀にブレがまったくないのが皆さんとの明確な違いです。

わたしの宗教は「スピリチュアリズム」であり、スピリチュアリズムの教えの根幹は「物質に偏らない生き方、物質世界のルールに染まらない生き方」「ハートとマインドの一致」、SEPULCHRE「背後靈との二人三脚制」、「人の（※靈性の進化の）役に立つ生き方」であり、「そのための困難を甘受すること」というシンプルな宗教であり、宗教組織のような教祖はいないし、ひとりひとりの信仰實踐に委ねられる極めて厳格な實踐主義、行動學になります。靈的眞理は實踐しなければ何の価値もないからです。

イエスの模倣コピーという生き方

そもそも、死後、幽界から靈界に上がるためには「スピリチュアリズムへの改心」は絶対条件であり、スピリチュアリズムへの改心をしない限り、靈界には行けないと思っっといいても間違ちがいありません。靈界にいる存在すべてがスピリチュアリズムという宗教を信仰實踐し、惑星地球の総指揮者リーダーのイエスを模範もはんとし、調和の實踐、そして調和の成就のために働つづき續けています。

誰もがイエスの生き方の眞髓を盗み、それを現實に反映させようという道具意識で生きており、尚且つ何百億という存在が丸丸とななってチチームで動うごいている世界であり、自己流、自力主義という存在はひとりも存在できない世界です。そんな人間は、即刻

バイブレーションでバレル世界であり、幽界最下層に落とされます。地上世界には即刻幽界最下層に落とされるような存在ばかりしかいません。あまりにも愚者しかない世界であり、地上人類のあまりの愚かさに日々絶望しかありません。

わたしは、本質的なことをいうなら「イエスの模倣」^{コピー}みたいな存在であり、神とイエスのためならば、自分自身の顯在意識を滅却するように努力します。その本質的理由は、「神とイエスへの絶対的信仰」と敬意と畏怖があります。

何故、イエスの模倣^{コピー}が出来るのですか？と問われたならば、「万人の理想の生き方であり、ずっと魂が目指してきた生き方であり、少しでも神とイエスに近づきたいとする魂の願望」が、そうさせているのかもしれない。

地上世界のルールや自分の都合で眞理を歪めるな

世の中には「道具意識」という、靈性の高い存在の指示に「素直」に従い靈的成長し、それは指示に従った結果だと「謙虚」になれる人間と、「自己流、自力主義」という、靈性の低い人間の「自己主張」と「頑固」と「傲慢」により人生を墜落させていく人間の2種類がいますが、99%以上の人間は後者になります。

また、惑星地球の地上人に一番多いのは、靈的眞理を知っておきながら顯在意識の都合で修正して實行するというケースです。まるっきり眞理を拒否はしないけど、地上世界のルールや自分の都合で眞理を歪めて、自分の都合のいいように修正して實行しようとする人間が一番多いケースです。これが「顯在意識の自己満足」、やってい

るつもり」の状態で、一番危険な状態です。

本來、自然法則靈的眞理の氣づいた部分を100%受け入れ、素直に最善を尽くして實行する

のが本質的な生き方ですが、地上世界のルールや、自分自身の顯在意識の都合で眞理

を修正し、自然法則靈的眞理を歪めている人間が殆どです。自然法則靈的眞理を徹底するのは大變だか

ら、自分の都合の悪い部分は置いといて自分の都合のいい部分だけ一生懸命やればい

いや、これが地上人の大多數の生き方であり、死後に暗黒地獄行きになる可能性の一

番高い危険な生き方になります。

すべてに置いて優先すべきは自然法則靈的眞理であり、自然法則靈的眞理を知っておきながら、地上

世界の規律、ルール慣習、トレーニング習慣を優先させる生き方は、死後に幽界最下層の暗黒のよう

な場所で、發狂するような激しい後悔と良心の呵責かしゃくが1秒の休みもなく襲いかかってくる末路を迎えます。そうになりたい人間があまりに多いようなので、一度は地獄といふような心の苦悶を、地上世界にいる間に徹底的に體驗たいけんしないと更生しない人間が多すぎます。死後世界の地獄は、地上世界の心の苦悶とは比較にならないほどの苦しみなので、肉體にくたいがある間に更生しておくのがベストなのですが……。

そもそも、「心臓 脳の心と肉の心の調和のとれた状態」にならなければ、地上人生のスタートラインにすら立てません。シルバーバーチは地上人のことを「夢遊病者」と表現しており、靈的には死んでも同然とはつきり述べています。「いの禱り」、「音叉セルフヒーリング」によるコヒーレンスの方法、『シルバーバーチの靈訓』、『スピリチュアリズムの思想體系たいけい』の正しい理解によるコヒーレンスの方法、これらが地上人生の

スタートラインに立つための必須条件なのにも関わらず、それを日常の習慣にしよ
うとする人間が少なすぎます。なので、地上人類の殆どは、地上人生のスタートライ
ンにすら立っていないのが現状であり、そうしたのんびんだらりな生き方をしている
から死後に悲惨な末路を迎えるのです。

そうなりたくなければ、必死に『シルバーバーチの靈訓』、『スピリチュアリズムの
思想體系』^{たいけい}を學習^{がくしゅう}し、靈的眞理を正しく理解^{いの}し、禱^{いの}り、音叉セルフヒーリングを實
踐^{SEPULW}し、背後靈からのメッセージを受け取れるような状態を維持する努力を怠らないで
ほしいものです。それしか本当の意味で「靈的覺醒」といわれる状態になるのは不可
能だと思えますし、皆さんが皆さんを救うのは、靈的眞理の信仰實踐しか道がないと
悟ってください。